

# 平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		100303		部課コード	100300	2998-9158		
事業コード	環境にやさしい農業推進事業			担当部課	農業振興課			
100303	環境にやさしい農業推進事業			グループ	振興グループ			
開始年度		平成 14 年度	終了年度	年度				
事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令			
	分野別計画・指針					所沢市農業振興総合対策要綱		
	関連・類似事業					所沢市環境にやさしい農業推進事業実施要領		
	総合計画の体系	章 産業・経済	節 農業	基本方針	生産基盤の整備推進			
事業開始の背景	化学合成農薬及び化学肥料の使用量を削減する中で、有効な手段に対し助成を図ることとした。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	地球環境への負荷を軽減するとともに、地域住民との共存を図り、安心して安全な農産物の生産を増やしていく。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	1,748	戸		
	農業者			平成 27 年度	1,518	戸		
事業の具体的な内容及び実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェロモントラップ...性フェロモンを利用して、害虫の発生を予測し、適期防除をすることにより、化学合成農薬の減少を図る。事業費の1/2以内で補助する。</li> <li>・生分解性マルチフィルム...土壌微生物によって分解される生分解性マルチフィルムを利用することにより、農業廃棄物の削減、除去作業の省力化を図る。事業費の1/2以内、10,000円/人を限度とする。</li> <li>・緑肥...緑肥の利用で雑草対策や有機物肥料の供給が行われ、化学合成農薬及び化学肥料の削減を図る。併せて、風食防止、景観形成等を通じて周辺住環境への配慮を図る。事業費の1/2以内、5,000円/人を限度とする。</li> <li>・交信攪乱剤...交信攪乱剤の利用で害虫の個体数を減少することにより、化学合成農薬の減少を図る。事業費の1/2以内、50,000円/人を限度とする。</li> <li>・軽油代替燃料...農業用機械に軽油代替燃料を利用することにより、資源循環や硫化硫黄物の削減を図る。事業費の1/2以内、30円/リットルを限度とする。</li> </ul>							
経費	会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額		1,500	1,500	1,200			
	決算(見込み含む)		1,094	964				
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	( 0.00 人)	( 0.00 人)	( 0.00 人)	( 0.00 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。		
	正規職員人件費	0.17 人	1,483	0.20 人	1,732			
	事業費合計		2,577	2,696				
財源内訳	一般財源	2,577	2,696	1,200				
	国・県支出金							
	その他( )							
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	フェロモントラップの設置	設置農家数	戸	126	118	121	150
		緑肥利用推進事業	購入農家数	戸	64	45	200	300
生分解性マルチの推進		購入農家数	戸	50	47	100	150	
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	総農家戸数に対する事業参加農家戸数	事業参加戸数/参加農家戸数	目標値	520	520	520	600
				実績	240	210	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図る <input type="checkbox"/> 実績縮小図る	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	46	40	どちらかをチェックしてください	
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	いるま野農業協同組合と連絡を密にとることで、事務手続きを効率よくスピーディに行うことができた。			いるま野農業協同組合と協力して農業者と周知をしていくなかで、農業者にとってのメリットの周知が徹底されていない。				
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	理由	環境に配慮した農業やまちづくりを進める上で、有効な事業である。		
		<input type="checkbox"/> 終了		<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他		農業者の自己負担も増加しているが、限られた予算の範囲内で事業を実施していく。		
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性				
	フェロモントラップについては、トラップの設置が完了し、毎週ハスモンヨトウの捕殺数の報告を受けている。緑肥・生分解性マルチについては、いるま野農業協同組合を介して農業者に周知し、事業に参加する農業者を募っている。			農薬の適正使用及び使用量の削減、緑肥作物による有機農業の推進及び周辺住環境への配慮、生分解性マルチフィルムによる農業廃棄物の削減により、地球温暖化防止、安全安心な農産物の生産、土埃による被害軽減につながる有益な事業であり、今後も引き続き実施していく。				
	評価日	H28.8.5	評価者職氏名	農業振興課長 三枝 恵一				
環境影響	有益な環境影響	3 1緑地の保全と緑の創出		有害な環境影響を及ぼす原因活動	化石燃料車輛の使用に伴うCo2の排出	規制を受ける環境法令等	無	
						緊急事態	無	